

# 斥

おん セキ

5画  
一 尸 斤 斥

**なりたち** 本字は斥で、逆の意味の弟と尸(家)との会意字。家に入ろうとする人を逆に追い出すこと。しりぞけること。



いみじゆく

▼しりぞける。おしのける。排斥：押しつけて仲間はずれにすること。

▼様子さぐる。斥候：敵の動静を探ること。また、その兵。例斥候隊

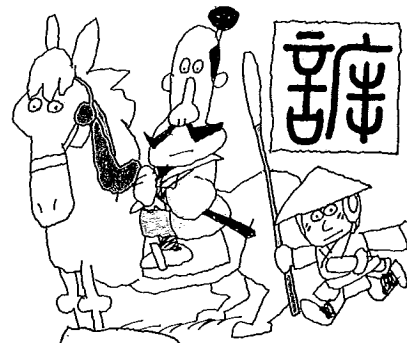
# 斥訴

# 訴

おん ソ うったえる

12画  
言 言 言 言 言 言 言 言 言 言 言 言 言 言

**なりたち** 逆らう意味の斥と言との会意形声字。下から上に向かって(逆)言うという意味の字。"地位の低い者が、身分の高い人に向かって言う"こと。うったえること。



いみじゆく

▼上の人に判断を願い出る。うったえる。訴訟：裁判所に訴えて、判断をおおぐこと。

訴状：訴訟を願い出る文書。起訴：検察官が訴訟を起すこと。例不起訴処分

直訴：定められた手続きを踏まず、直接最上位の人に訴えること。勝訴：訴訟に勝つこと。反敗

哀訴：同情を求めてなげき訴えること。

泣訴：泣いて訴えること。

よみかた 訴因・公訴・控訴・告訴・上訴

# 屯

おん トン

4画  
一 一 一 一 屯

**なりたち** 草が芽を出そうとしている形を表した字で、物の初めの意味を表した字。今は村の本字「邨」(集落)の初めの形(辺境に集団移住して外敵と戦いつつ耕作して村作りする)の意味に用いる。



いみじゆく

▼たむろする。集まる。屯所：たむろする所という意味で、警察署の旧称。

屯田：辺境に土着して半農半兵の暮らしをすること。例屯田兵(明治時代に北海道で行われた。)

屯管：兵士がたむろすること。また、その場所。駐屯：一か所に軍隊が長くどまつていること。例駐屯地

# 漢字学習コーナー

漢字の「音」と「訓」漢字には、音読みと訓読みとあるのが普通です。音とは、漢字が日本に取り入れられた時の「中国読み」のことであり、訓とは、その漢字の意味に当たる「日本の言葉」のことです。

例えば、「花」という漢字は「花瓶」、「造花」と使われる時、カと発音されますが、これが「音」です。

ところで、この字は、日本の「はな」という言葉に当たりますので「花見」、「草花」と読み、この「はな」という読み方を「訓」と言うのです。

ところが、音の無い漢字や訓の無い漢字があります。例えば、「畑」という字は、「はた」または「はたけ」という訓があるだけで、音はありません。

# 漢字学習コーナー

これはなぜかと言いますと、この字は日本で作られて、日本だけで使われているからです。「働」という字も日本で作られた字ですが、中国でも使われており、ドウという音があります。

このように、日本で作られた漢字には「峠・峠(該)・辻(辻)・柙(柙)」などがあります。

反対に訓の無い漢字は、その漢字に当たる言葉が日本に無かったからです。漢字の「漢」はそれに当たるものが日本に無いのですから、訓読みのし方が無い訳です。



# 屯

漢字学習コーナー